

# 所管事務調査報告書

31. 3. 8 総務委員会資料No.1-1

委員会名	総務委員会
調査研究テーマ	地域コミュニティのあり方について
テーマ設定の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年7月の行政評価において、「施策：自立に向けた住民組織力の向上 及び いいだ未来デザイン2028基本目標8：新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる」の評価を行った。評価のなかで、自治組織の疲弊感があり自らが考え行動を起こす自主的活動ができないことや、地域協議会とまちづくり委員会の不明確さ、また地域協議会のあり方について課題があるとした。</li> <li>また、市民から、地域自治の根幹である地域において、地域へ転入してきた世帯が組合に加入しないケースや、加入している世帯が高齢化や家族構成の変化により組合を脱退するケースがでてきたという話を聞くようになった。</li> <li>災害時における高齢者世帯や未加入世帯の避難対策も言われているが、これらも地域コミュニティに深くかかわる。</li> <li>リニア時代を迎える飯田市にとって、組合未加入問題、役員のなり手不足などの解消に向けた取組が、持続可能な社会をつくりだすコミュニティのあり方そのものに繋がるところから調査研究に取り組むこととした。</li> </ul>
調査研究の経過・結果	<p>〔課題整理〕          地域コミュニティに対して議会報告会で出された意見は様々であった。その中から次の3点に焦点を絞り調査を進めた。          地域コミュニティの組織・運営のあり方          役員のなり手不足          組合未加入問題(様々な理由による組合からの脱退も含めて)</p> <p>〔取組経過〕          ○平成29年8月 調査研究テーマ決定          ・議会報告会を起点とする政策提言の取組みにあたって「地域コミュニティの在り方」を調査研究のテーマとすることを決定          ○平成29年10月 議会報告会(市内6カ所) 参加人員(582名/当委員会226名)          ・テーマ「あなたは、地域とどのように関わっていきますか」          ○平成29年12月11日 総務委員会「議会報告で出された意見の確認」          ○平成30年1月16日 総務委員会内にプロジェクト設置          ・テーマの調査研究及び進め方を検討するための「地域コミュニティの在り方プロジェクト」(以下、研究PJ)を発足。          ○平成30年2月16日 委員会「今後の進め方について」          ・勉強会「いいだ未来デザイン2028について」          ・基本構想(平成29年度から平成40年度までのキャッチフレーズ、未来ビジョン、人口ビジョン)、4年間の基本的方向、基本目標ごとの戦略的な展開についての勉強会を開催。20地区のまちづくり組織の確認及び組合加入率の確認。          ○平成30年3月19日 研究PJ「2月の勉強会の集約」          ○平成30年4月27日 研究PJ「市民協働環境部へ総務委員会の取組の説明」          ○平成30年5月21日 研究PJ「5/23に向け打ち合わせ」          ○平成30年5月23日 委員会「議会報告会で出された意見の再確認」          「自治振興センター長との意見交換」          ○平成30年6月15日 委員会「消防団本部との意見交換」          ・各地区の現状の聴取、確認          ○平成30年7月3日～4日 所管事務調査「管外視察」</p>

# 所管事務調査報告書

31. 3. 8 総務委員会資料No.1-1

- ・愛知県尾張旭市、滋賀県米原市、福井県越前市において、自治会加入への取組について、近居・同居支援について視察
- 平成30年7月31日 勉強会「自治振興センター長PJとの意見交換」
- ・各地区の現状の聴取、確認
- 平成30年9月7日 研究PJ「議会報告会と今後の進め方及び内容の確認」
- 平成30年9月18日 勉強会「防災とコミュニティについて」
- ・危機管理室と意見交換
- 平成30年10月 議会報告会（市内7カ所）参加人員（654名/当委員会262名）
- ・テーマ「今だから考えよう！地域コミュニティを（防災の観点から）」
- 平成30年11月12日 委員会「30年度議会報告会で作された意見の確認」
- 平成30年11月29日 研究PJ「今後の進め方と調査研究のまとめ方について」
- 平成30年12月10日 委員会「議会報告会で作された意見の検討、議論」
- 平成30年12月17日 勉強会「調査研究の一次集約」
- 平成31年1月9日 勉強会「地域コミュニティとごみ集積所について」
- 平成31年1月16日 研究PJ「まとめ（案）作成に向けての検討」
- 平成31年1月21日 勉強会「まとめ（案）について」
- ・地域コミュニティの課題のうち、「組織・運営のあり方」「役員のなり手不足」「組合未加入問題（様々な理由による脱退も含めて）」この3点に絞りまとめ案を作成。
- 平成31年1月25日 山梨学院大学 江藤俊昭教授との意見交換
- ・調査研究のまとめと市民との意見交換について
- 平成31年1月25日 研究PJ「今後の進め方について」
- 平成31年2月8日 勉強会「意見交換会について」
- 平成31年2月19日 研究PJ「意見交換会及び今後の進め方について」
- 市民との意見交換会 「地域コミュニティのあり方について まとめ(案)」
  - 平成31年2月21日 伊賀良公民館 参加者32人
  - 平成31年2月23日 鼎公民館 参加者31人
  - 平成31年2月24日 下久堅公民館 参加者23人
- 平成31年3月1日 勉強会 意見交換を終え、まとめ
- 平成31年3月8日 委員会「まとめについて」
- 平成31年3月20日 全員協議会
- ・取組みの経過と提案事項を報告し、全議員で情報共有する。
- 平成31年3月 提案書手交
- ・正副委員長から、担当部長に対し提案書を手交し概要を説明。

## 〔調査研究結果〕

- ・議会報告会のテーマに対して市民から出された意見は、各種団体組織の脆弱さや、まちづくり委員会の役員のなり手不足、組合未加入・脱退等、これからの地域運営に対し非常に危機感を持ったものであった。
- ・管外視察やセンター長等との意見交換を行い、「地域コミュニティのあり方 まとめ（案）」を作成し、これについて市内3地区で市民との意見交換を行った。
- ・意見交換のなかで、ある地域では有効な手法であっても、別の地域においては、その手法では逆の方向に進む、など地域によって有効な手法が異なることや、市の窓口の対応次第でプラスになる可能性もあることがわかってきた。
- ・この調査研究はやっと「緒についたところ」であり、今回のまとめは「中間」的なものである。リニア時代に向け飯田の名前の語源にもある「結」を想像できるような「コミュニティ」が持続できるように、調査研究を継続していくこととしたい。